

あれこれ通信

TeL / Fax 0493-62-7997
http://space.tom-shibuya.com
e-mail 713@tom-shibuya.com

渋谷とみ子の議会報告No.82

少子化をストップするこども政策。子ども医療費、10月頃から無料化です。ところが、小中学生の教材費などの補助金が半額に減ります。

嵐 山町のこども政策は、医療費に遅れがち
な部分があります。

埼玉県の嵐山町以外の市町村では子どもの医療費は窓口で支払わない無料化になりました。嵐山町は、医療費を支払って、町に支払った医療費分を補助してほしいという申請をすると、後で振込まれるというシステムです。事実上無料化ですが、窓口で医療費を支払うので、現金が手元になれば受診できず、幼い子どもを抱いて支払うので不評です。

医 療費を一度は窓口で支払うため、現金が
なければ医療機関を受診できません。

無料だとちょっと熱っぽいかなと軽症でも気軽に受診するが、現金を支払うと気軽に受診しないだろうという予測をして、気軽に受診できなかった推測の医療費分と実際の医療費との差額分を学年費（1年間学校教材費を小学生1万円・中学生2万円を補助する）制度で、父母の理解を求めています。

子 どもは乳幼児の医療機関受診が圧倒的
に多いのです。医療機関に現金支払い
することで受診の無駄を防ぎ、稼ぎ出したと
する金額を学年費補助金に活用する論理は年
齢がずれています。全く異なる子育て支援な
ので、無理があります。

27年度予算は、子ども医療費無料化する
ことで「学年費補助金年額小学生1万
円、中学生2万円」を半額にする「年間小学
生5千円、中学生1万円」意地悪予算です。

小中学生への教材費の補助は、小学校では、ドリル代・野菜苗・たね代・習字半紙・電車賃など、中学校では、生徒会代・苗代、ワークブック代などです。義務教育は本来無償ですから、小中学校学年費補助は理にかなっていません。小中学校は教材費等を保護者から徴収せずに運営できていました。（修学旅行・給食費は別）

予 算案の修正案を予算特別委員会に動議
として提出しました。

予算案修正動議	●財政調整基金（2億3901万円）から 868万5千円を取り崩す。 (財政調整基金残高2億3032万5千円)
	●小中学生学年費補助金 868万5千円 (小学生5千円、中学生1万円)に 868万5千円を加え1737万円に修正 (小学生1万円、中学生2万円)

結 果は、下の表のとおり、否決です。
こども人口は急激に減少しています。
貧困な子どもは6人に1人います。子育て支
援政策充実として様々な取り組みが必要です。

○は賛成、◎は賛成討論 ×は反対 ★は動議の提案者、	森一人	大野敏明	佐久間孝光	長島邦夫	島山みゆき	吉場道雄	河井勝久	川口浩史	清水正之	安藤欣男	渋谷登美子	松本美子	青柳賢治
学年費補助金を 小学生5,000円⇒10,000円 中学生10,000円⇒20,000円 に修正する予算案の動議	×	×	×	×	×	×	○	○	◎	×	★	委員長	議長